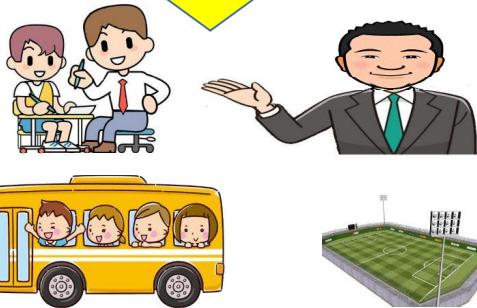


ゆたかで安心して暮らせる街にしよう！

子育てしやすい街に！

- ・保育ステーションを幸手駅に設置する。
- ・学童保育で勉強ができる環境を整えたり、時間が延長できるようにする。
- ・食育の推進を図る。
料理教室を無料で開催して、自宅で料理をする場合でも食材を配布することにより、子供が一人である時でも自分で食事がとれるようにする。
- ・小中学校で希望者に、放課後授業を毎日行えるようにする。
- ・給食を無料にする。
- ・学校再編を行う。
- ・子供たちのために、適正な人数に近づけ教育環境を整える。
権現堂川・吉田・八代・さかえ小学校をさくら小学校に統合し、スクールバスを使用する。
東1丁目～5丁目を幸手小学校区に変更する。
幸手中学校と東中学校を統合し、スクールバスを使用する。
- ・各屋内スポーツ施設にエアコンを整備し、熱中症を予防する。
- ・少年サッカー場を人工芝に変更し、使いやすくする。
- ・高校生までの医療費を無料にする。
現在行っている中学生までを、高校生まで引き上げ、**成人するまでは、お金の心配がないようにする。**

こんにちは、代表の宮村かつおです。
いままで市議会議員として、慣例・慣習にとらわれず、柔軟な発想と市民の皆様のご意見を基に、具体的な施策をさまざま提案してきました。
これからは、市民の皆様と一緒に、実現させなければなりません。
ご意見等ございましたら、是非お聞かせ下さい。
よろしくお願ひ致します。



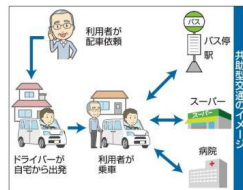
高齢者が安心して暮らせる街

- ・24時間の見守りサービスを充実させる。
ご家族様に対応できない場合には市が対応する。
- ・訪問による診療・看護・介護を推進する。
通院できない方にも計画的に診療を行い、安心して生活ができるようにする。
- ・買い物代行サービスを行う。
- ・栄団地にサービス付き高齢者向け住宅機能をもたせる。
- ・介護医療院の誘致をする
介護と医療を併せた施設を誘致するか、現在の施設を変更することを推進する。



郊外でも便利な街に！

- ・学校再編後の小学校跡地を利用する。
住民票や印鑑証明書が取得できるようにする。
ATMを設置する。
コンビニ・食堂・居酒屋・保育所等を誘致する。
- ・地域共助型生活交通を導入する。
幸手・東武動物公園・杉戸高野台・東鷲宮・南栗橋駅・スーパー・病院・行政施設・その他各所への交通を便利にする。
- ・市街化区域外の住宅建設を促進する。



政治団体「新しい幸手の会」

快適な生活がおくれる街に！

- ・市街地について
先進インフラの実証実験地区に指定して、新しい技術を試せる場所にする。
中地区に昔のよろずや的な商店を推奨し、買い物難民をなくす。
- ・幸手駅西口について
幸手駅の3番線跡地に駐輪場を作り、利用者の利便性を図る。
現在着手している区画整理事業を肅々と進め完成を目指す。
- ・栄団地をURと共同でのリノベーションを提案する。
- ・北公民館の音響を改善して文化活動を推奨する。
- ・圏央道の側道を早期に久喜と接続させアクセスをよくする。
- ・計画道路を検証し、実現を目指す。
- ・市役所については、耐震基準を満たしていないことから、新庁舎建設に向けて動き始めているが、学校再編後ウエルズ幸手と権現堂川小学校跡地を利活用すれば、**新庁舎を作る必要はない！**



イメージ図

賑わいのある街へ！

- ・権現堂公園関係
権現堂臨時駅の設置を東武鉄道と検討する。
一年を通して様々なイベントを開催する。
公園管理ができるように、シルバー人材センターを育成する。
さくらマラソンは、さくらのトンネルコースを復活させ、公式記録に認定されるハーフ種目を作る。
- ・夏祭りや、各地域の祭りを文化遺産として保全し、地域の活性化につなげる。

行政改革を断行！

- ・市が発注する工事や、委託などの内容を精査する。
市民感覚からかけ離れた工事額や、職員が出来る業務の委託などを見直す必要がある。
- ・自治体DXを推進する。
手続きなどの利便性を向上させ、さらなる行政の効率化を図る。
個々のニーズに合った行政サービスを提供する。
市役所内のさまざまなコストを削減する。
- ・市役所職員の作業効率が向上するように、組織の見直しを行う。

発行責任者：宮杉 勝男
090-1691-8940
埼玉県幸手市中4-13-19



環境保護の街に！

- ・脱炭素を推進する。
- ・汚泥カスを微生物を使って肥料にする。
- ・燃えるゴミを微生物を使って肥料にする。
- ・最終処分場を延命する。
- ・可燃ごみ残渣を建設材料に利用し、処分量を減らす。
- ・ゴミ袋を値下げする
- ・可燃ごみの住民負担割合が他市よりも多いので、同等にする。

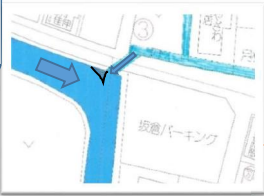
ゆたかな経済へ！

- ・惣新田バイパス完成後、産業団地を拡張する。
- ・地元企業が公共事業に参入できるように育成する。
- ・戸島と上高野地区に農業ファームと産業団地を新設する。
- ・農家の方へ、利益率の良い作物への転換を促進する。
- ・全農の農業経営者育成施設を誘致する。



◎ 水害に弱い幸手から、水害に強い幸手へ!

◎ 牛村橋付近の冠水削減
黒線のような合流壁を設置し、水の流れを良くする。



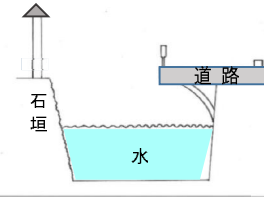
◎ 倉松川の市内流量削減
香日向の幸手市遊水地等から中川への排水量を増やし水位の上昇を抑える。



◎ 中5丁目公園付近への流入削減
田んぼからの流入を防ぐために防水壁を設ける。



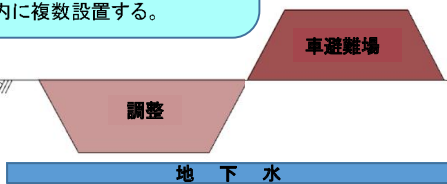
◎ 倉松川ボトルネック解消
牛村病院の前にある道路の下まで、拡幅をする。



◎ 上げ船の復活
市内の公園に救助艇を多数設置する。



◎ 調整池と水塚のセット建設
地下水の上まで掘下げた土を盛土し、芝を蒔くことで建設費を抑え維持費も安くなる。市内に複数設置する。



◎ 車で避難する場所を確保
太線の部分を盛土し、水塚を作り、車の避難場所とする。普段は公園として利用する。



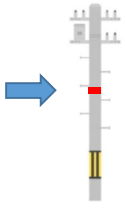
◎ 北3丁目からの排水強化
北公民館前のポンプをジェット式に変更し排水量を増やす。



◎ 北2丁目付近冠水削減
ドッグパークと市民農園に約30,000㎡の貯水機能をもたせる。



◎ 居住地の浸水深認識強化
電柱にハザードマップに示されている浸水深を表示する。



幸手は昔から水害が何度も発生しており、解決しなければ安心は得られません。

◎ 医療機関との連携強化
災害協定の見直しを図る。



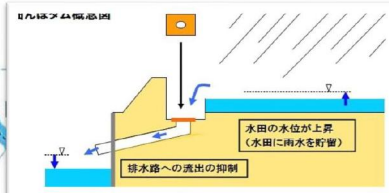
◎ 要介護者の避難方法確立
情報提供については、本人に了解を得てから、消防団や自主防災組織に把握してもらい救助体制を確立する。



◎ 中川から江戸川への排水強化
中川上流排水機場の機能を50tから100tにするよう埼玉県に要望する。



◎ 田んぼダム推進
雨水を一時田んぼに貯めて、急激に川が増水することを軽減する。農家さんとの協議が必要



◎ 大島新田貯水量、増量
斜線の部分を約1m掘り下げることにより、95000㎡増量する。

